

30 歳代乳がん視触診単独検診の廃止について

これまで実施しておりました 30 歳代視触診単独検診につきまして、平成 30 年 3 月 31 日（土）をもって廃止いたします。

1 廃止理由

乳がん検診は、厚生労働省が示す「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」において、対象者は 40 歳以上、検査項目は問診及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ）となっていること及び平成 29 年 3 月に開催しました吹田市乳がん検診精度管理委員会（医師会担当理事、市内乳がん検診専門医、保健所長などで構成される委員会）において、30 歳代視触診単独検診は、「有効性が示されていないがん検診であり受診者に不利益が発生する恐れがある」との意見があり、全会一致で廃止の方向性が出されました。この検討結果を受けて市として廃止を決定しました。

2 市民への周知

吹田市乳がん検診精度管理委員会において、廃止にあたっては市民への丁寧な説明と乳がんについての啓発の強化が必要と提言があったことから、市報すいた 1 月号及びホームページでお知らせするとともに、市内の協力医療機関へポスターの掲示を行なうなど周知を図ってまいります。また、平成 29 年度の受診者には、郵送または医療機関において廃止となった経緯及び乳がん自己触診の重要性の啓発の案内をする予定です。

3 今後の対応（予定）

（1）乳がん自己触診の重要性に関する啓発の強化

ア 女性の健康についての講座（保育付）を平成 30 年 3 月 21 日（水：祝日）に大和大学で実施。医師等による講演等で乳がんの啓発を行います。

イ 健康展、ガンバフェスタなど多数の市民が来場されるイベント等の機会をとらえて乳がんの自己触診の重要性について啓発を行います。また、引き続き乳幼児健診や出前講座等で啓発を行います。

（2）乳がん検診受診率向上策

40 歳以上の方の乳がん検診受診機会の確保のため、乳がん・子宮がん検診の保育付の同時検診を前述の女性の健康についての講座に合わせて実施します。